

一緒に！ つくるう 津久見の 未来

ストップあきらめ、つくるう対話で未来

石川まさし

2045年 大分県内市町村人口予測

	2020年	2045年予測	減少率
大分県全体	1,130,771	896,653	-20.7%
大分市	479,341	434,166	-9.4%
別府市	118,198	94,380	-20.1%
中津市	82,808	72,259	-12.7%
日田市	61,962	39,297	-36.5%
佐伯市	67,229	41,738	-37.9%
臼杵市	35,907	21,508	-40.1%
竹田市	20,346	11,520	-43.3%
豊後高田市	21,638	15,709	-27.4%
杵築市	28,298	19,314	-31.7%
宇佐市	53,128	37,670	-29.0%
豊後大野市	33,812	21,170	-37.3%
由布市	33,557	28,618	-14.7%
国東市	25,781	13,848	-46.2%
姫島村	1,761	749	-57.4%
日出町	27,575	23,163	-16.0%
九重町	8,862	5,206	-41.2%
玖珠町	14,499	8,526	-41.1%
津久見市	16,069	7,812	-51.3%

つくみんレポート 第2号

発行：津久見の未来を一緒につくる会

津久見市中央町15-12

TEL&FAX 0972-82-5122

Mail tsukumi.ishikawa@gmail.com

引き続き大分県内市町村の2045年の人口比較をみてみましょう。津久見市の人口減少率は姫島村に次いで県内2番目の-51.3%でした。市では津久見市、国東市、竹田市の順で減少率が高くなっていますね。人口ピラミッドにつづき衝撃的な数字が突き付けられました。単純な見方ですが22年後には人口は半分以下になり、玖珠町より人口は少なくなる予想が出ています。前ページでも述べたように、ハード・ソフト両面で人口減少・少子高齢化を受け入れたまちづくりが求められます！市民レベルでこれまで以上に津久見の未来を考える必要があります。現状維持ではなく変えるべきところは変える前提でまちづくりをすすめなければなりません！

つづく

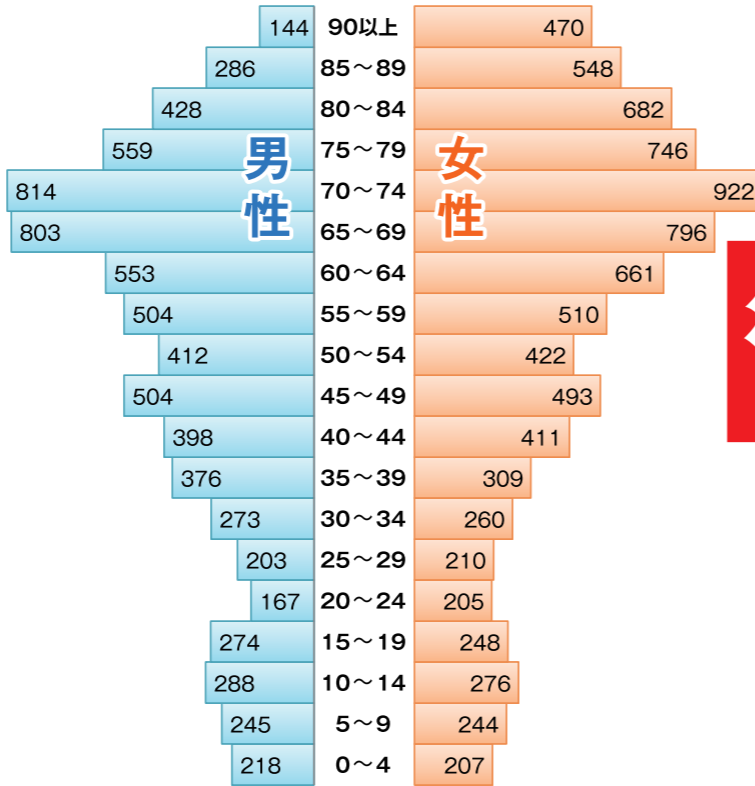


衝撃の予測?!

いったい津久見市の人口は どこまで減るのか?

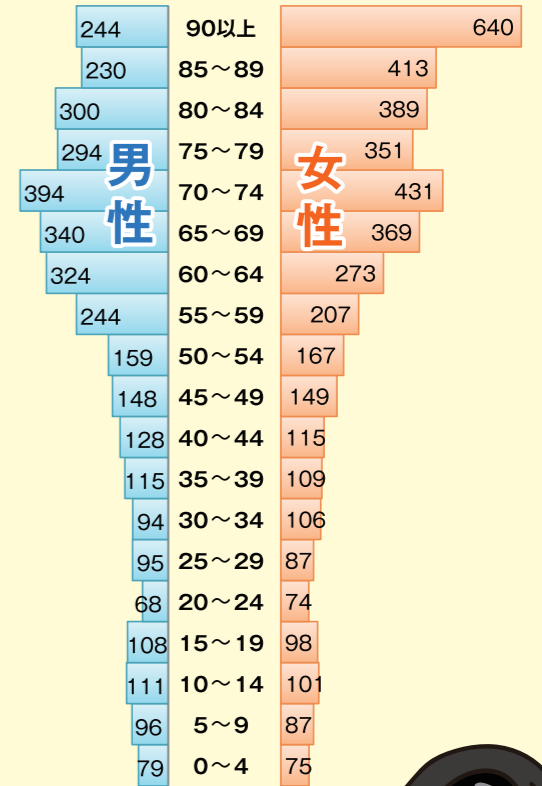
津久見市 2020年年齢別人口			
年齢	男	女	総数
90以上	144	470	614
85~89	286	548	834
80~84	428	682	1,110
75~79	559	746	1,305
70~74	814	922	1,736
65~69	803	796	1,599
60~64	553	661	1,214
55~59	504	510	1,014
50~54	412	422	834
45~49	504	493	997
40~44	398	411	809
35~39	376	309	685
30~34	273	260	533
25~29	203	210	413
20~24	167	205	372
15~19	274	248	522
10~14	288	276	564
5~9	245	244	489
0~4	218	207	425
合計	7,449	8,620	16,069

2020年 16,069人
(国勢調査)



津久見市 2045年年齢別人口			
年齢	男	女	総数
90以上	244	640	884
85~89	230	413	643
80~84	300	389	689
75~79	294	351	645
70~74	394	431	825
65~69	340	369	709
60~64	324	273	597
55~59	244	207	451
50~54	159	167	326
45~49	148	149	297
40~44	128	115	243
35~39	115	109	224
30~34	94	106	200
25~29	95	87	182
20~24	68	74	142
15~19	108	98	206
10~14	111	101	212
5~9	96	87	183
0~4	79	75	154
合計	3,571	4,241	7,812

2045年 予測 7,812人
(国立社会保障・人口問題研究所の予測)



第1号では津久見市の人口の過去・現在を見てみました。なかなか厳しい現実を受け入れなければなりません、未来を考える上では避けて通れません。第2号では未来の津久見市の人口はどうなるのかを最も当たる統計と言われる国立社会保障・人口問題研究所の予測を紹介します。5年ごとに行われる国勢調査を基に予測されていますが、直近で行われた2020年から25年後の予測では、なんと8,257人減少で半分以下になると予測されています。単純計算ですが年間平均で412人減っていくこととなります。この数字は亡くなる方と生まれる子供の差に加えて、引っ越しで津久見市から出ていく人と入ってくる人の差の合計になります。

5歳刻みの人口ピラミッドにしていますが、2020年で一番人口が多いのは70~74歳の団塊世代!でした。日本全体で一番人口が多いのは昭和23年生になるのですが、津久見市でもやっぱりこの世代が一番多いですね。25年後の人口ピラミッドで一番多いのがこの世代を含む90歳以上の女性になっています。グラフの下の方を見れば14歳以下は半分以下どころか1/3近くになるようです。逆ピラミッド型に近い超少子超高齢化社会がやってくるのが確実に読み取れます。

私が言いたいのは人口減少・少子高齢化が悪いのではなく、それらに対応するように今から頭を切り替えていきましょう!ということです。

さぁ一緒に!津久見の未来を考えていきましょう!!! 裏につづく

